

南京攻略戰鬥詳報

自昭和十二年十月十日  
至昭和十二年十月十三日  
(歩三五戰詳第三號其二)

歩兵第百十五聯隊第三大隊

## 目次

- 一 戦闘前ニ於ケル彼我形勢ノ概要
  - 二 戦闘ニ影響ヲ及ホセシ天候氣象戰鬥地ノ状態
  - 三 戦闘経過及之ニ關聯セル隣接部隊ノ狀況
  - 四 彼我兵力交戦セシ敵兵ノ団体號及將帥ノ氏名
  - 五 戰鬥ノ成績
  - 六 參考トナルヘキ事項
  - 七 聯隊命令
  - 八 功績顯著ナルモノ
  - 九 戦闘経過要圖
  - 十 戦闘參加職員表及大隊本部編成表
- 其附表其一、二、三

一、第三機関銃中隊

歩兵伍長 澤田 進

右ハ南京攻略戦ニ於テ第二小隊長代理トシ十二月十二日午前八時頃中隊長ヲ命令ヲ嚴守シ機関銃ヲ以テ敵陣内ニ突入前進シ直前ニ至ル米乃至二百米ニ退却スル數百名ノ敵ニ掃射ヲ浴セ特ニ偉大ナル機関銃威力ヲ發揮シ午後三時頃大隊左側背ニ對スル敵ノ逆襲ニ際シテハ小隊全ク孤立セル際沈著剛膽ニ活躍シ敵ノ逆襲ヲ撃退シ而モ終日勇敢ニ活躍シ小隊ノ射撃威力ヲ發揮セルハ大隊ノ攻撃ヲ容易ニシ其ノ功績拔群ナリト認め

一、第三機関銃中隊

歩兵伍長 岩田 恭夫

右ハ南京攻略戦ニ於テ第三分隊長代理トシ十二月十一日中隊孤立際午後二時四十分頃大隊左側背ニ對スル敵ノ逆襲ヲ速ニ發見シ之ヲ中隊長ニ報告シ中隊長ヲシテ機関銃ニ適スル處置ヲ執ラシメ且敵ノ逆襲ニ際

シテ周章狼狽セル射キヲ挑ネ除ケ自ラ射撃シ逆襲スル敵ニ大損害ヲ  
與ヘタル行動機宜ニ適シ大隊左側北背ニ對スル敵ノ逆襲ヲ完全ニ撃  
退セル最大素因ヲ爲シ其功績拔群ナリト認ム

一、第三機関銃中隊

歩兵上等兵 野澤三野二

右第二分隊長トシテ勇敢剛膽常ニ率先シテ任務ヲ完了シ十月  
十日第一小隊カ周家樓子北側高地ヲ占領セル際及十一月十日朝第  
一小隊ハ陳家東方稜線ヲ占領セル際獨斷ヲ以テ敵情地形ヲ偵  
察シ之ヲ小隊長ニ報告スルト共ニ小隊長ノ命令ニ先ニシテ陣地  
ニ進入シ敵ヲ猛射シ退却スル敵ニ突入シ機敏適切ナル追撃射撃  
ヲ爲セリ

上等兵ノ右ノ行動ハ第一小隊ヲシテ小銃中隊ニ先ニシテ重要地点ヲ  
占領シ大隊ヲシテ陳家西北方高地ヲ占領ヲ確實ナラシメ其功拔  
群ナルモノト認ム

一 第三機関銃中隊

歩兵上等兵 桑原利平

右ハ十一月十日分隊長代理トシテ午前十一時三十分頃牛王村ヨリ前進  
スル際敵迫撃砲及重火器ノ猛射ヲ受ケ銃身ノ運搬遅レシ際  
敵彈雨飛中ヲ單身クリークヲ渡リ銃身ノ位置ニ到リ之ヲ運搬  
シ中隊ノ尚家樓子占領ヲ容易ナラシメ大隊ヲシテ同高地ノ占領ヲ  
確實ナラシムルニ努力シタルモノニシテ其功績拔群ナルモノト認め

一 第三機関銃中隊

歩兵上等兵 生方忠房

右ハ中隊指揮班傳令ナリシカ南京攻略戦ニ於テ十一月十二日午前  
十一時三十分頃中隊命令ニ基キ第二小隊カ曾家門西北方六百米  
高地第一小隊直後ニ集結セル際敵ノ動搖ヲ發見之ヲ小隊長ニ  
傳ヘルト共ニ自ラ他ノ者ヲ指揮シ獨斷第一小隊陣地ノ左翼ニ銃ヲ  
据ヘシメ且自ラ射手トナリ射撃シ敵ニ對シ偉大ナル効果ヲ發揮

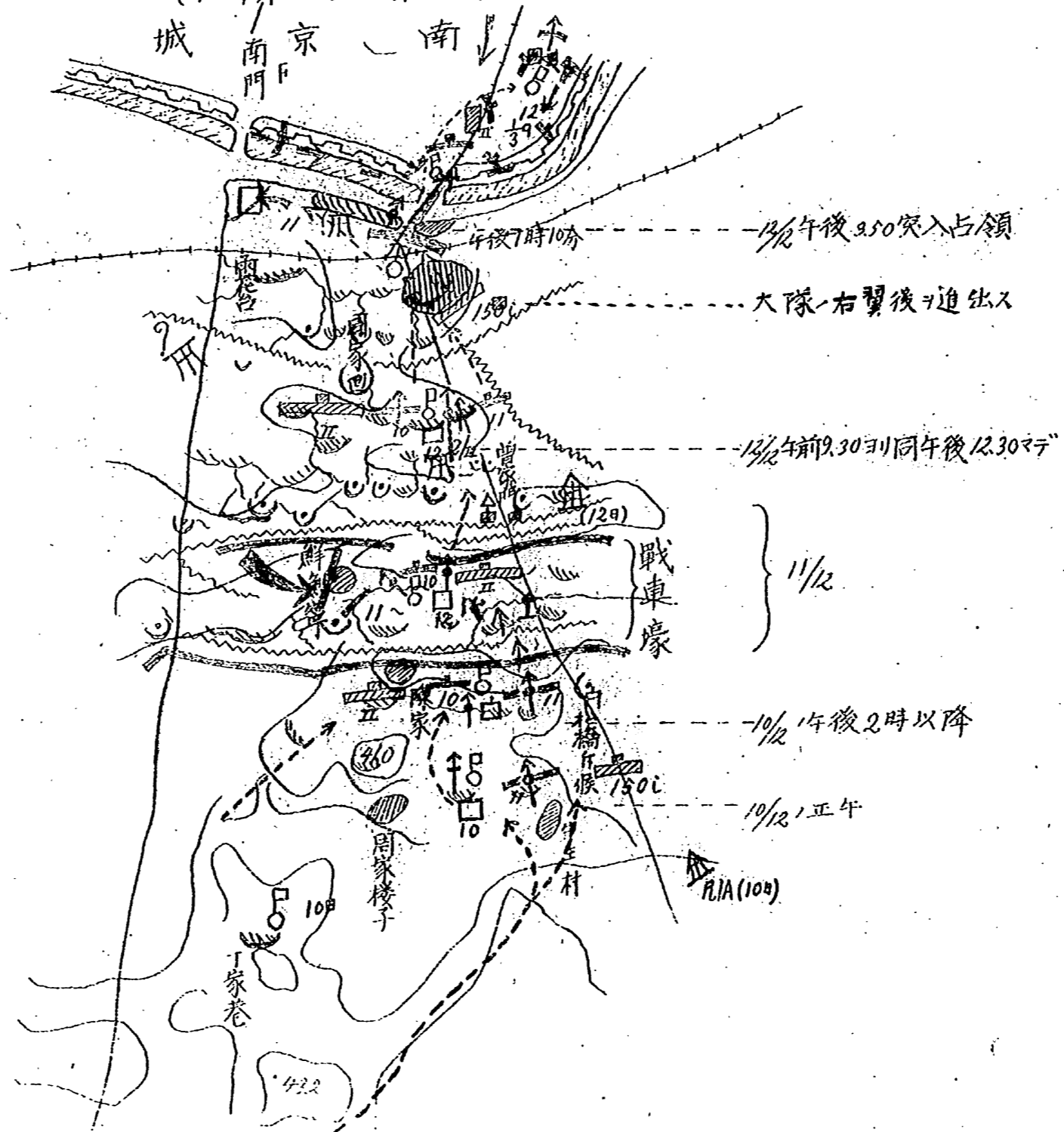
此ハ機宜ニ適シ其功績特ニ拔群ナリト認ム

1198

圖要般一過經關戰路攻京南

(日二十月二十至日十月二十自)

城 南 京 南



# 戦闘前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

## 一 南京附近ノ敵情

南京附近ニ於ケル敵陣地配備ハ概ネ丁集團情報記録  
第ニニ號附録ノ如ク情報ニ依レハ敵ハ野戰陣地ニ依ル  
抗ヲ放棄スルノ止ナキニ至ルヤ新ニ唐生智ヲ南京衛  
戍司令ト爲シ十數ヶ師ヲ南京要塞ニ集メ要塞補  
強ニ努メ而シテ我猛攻ニ依リ棲霞山ヨリ湯山及其ノ西南  
方高地線方山ヲ經テ牛首山ニ亘ル本防禦線ヲ失ヘル敵  
ハ南京直接防禦線特ニ東方紫金山南方雨花台ニ重兵  
ヲ置キ南京市園ノ緩廓ヲ有スル天嶮ヲ占メ兵力ヲ集團  
地ヲ強化シ頽勢ヲ此地ニ挽回シテ最後ノ抵抗ヲ企圖  
シアリ

## 二 友軍ノ情況



十月九日午後三時頃師團司令部ハ灣里ニアリ

歩兵第百二十七旅團ノ主力及歩兵第百二十八旅團ノ部ハ  
秣陵關附近ノ敵陣地ヲ突破シ引續キ菓園村三角吳  
四八二高地附近陵線ニ陣地ヲ占領セル敵ヲ攻撃中ナリ  
我歩兵第百二十八旅團主カハ才山東北側地ニヨリ轉進シ十  
二月九日午後三時三十分秣陵關ニ集結ス

同地ニ於テ十一月二十日上海上陸追及中ナリシ第六大隊  
(歩兵砲中隊半分ヲ屬ス)聯隊長ノ掌握下ニ入り又十月十  
六日金山方面ニ轉進セシメタル大隊ノ小行李ハ進ク追  
及中ナルコトヲ知ル

午後四時三十分秣陵關ヲ出發シ午後十時三十分永慶  
庵ニ到着ス

同時受領セル歩一五作命第六十三號ニ基キ左記ノ大隊  
命令ヲ下達シ般々タル銃砲聲下ニ露營ス

十一時小行李追及シ後方本道附近ニ露營ス

大隊 命令

十一月九日午後十時  
於永慶庵東北端

一大隊ハ聯隊命令ニ基キ現在地ニ露營セントス

二露營日直將校(部隊日直將校ヲ兼ヌヘシ)野間中尉

三警戒八第九中隊東方第十、第十二中隊後方ヲ担任スヘシ

右ノ外各隊毎ニ嚴ニ警戒スヘシ

四警戒急集合所ハ露營地前方乾田トス

大隊長

信澤 小佐

下違法

命令受領者ヲ集メ口違筆記セシム

大隊ハ七日八日昼夜ニ亘ル杜家山ノ激戦ニ引續キ休養

ノ暇モナク將兵ノ勞苦大ナルモアリシ又目前ニ迫ル南

京攻略ヲ期シテ士氣益々旺盛ナリ

十二月十日午前七時旅團命令及聯隊命令(二二五作命第  
六三號)ヲ受領シ直ニ本道上ニ集合行軍序列スル  
急行軍ヲ以テ午前九時稍々過蘇田橋ニ達シ攻撃ニ関スル  
歩二五作命第六十四號聯隊命令ヲ受領ス

1203

# 戦闘ニ影郷音ヲ及ホセシ天候氣象及戦闘地状態

## 一 天候氣象

天候晴天續キニシテ土地乾燥シ戦闘行動容易ナリ  
晝間ハ温暖ナリシモ夜間ハ氣温急激ニ降下シ寒氣酷  
シク將兵特ニ負傷者ノ苦痛大ナルモアリ

日ノ出概ネ午前七時三十分日没午後六時月齡十日ナリ

## 二 戦闘地状態

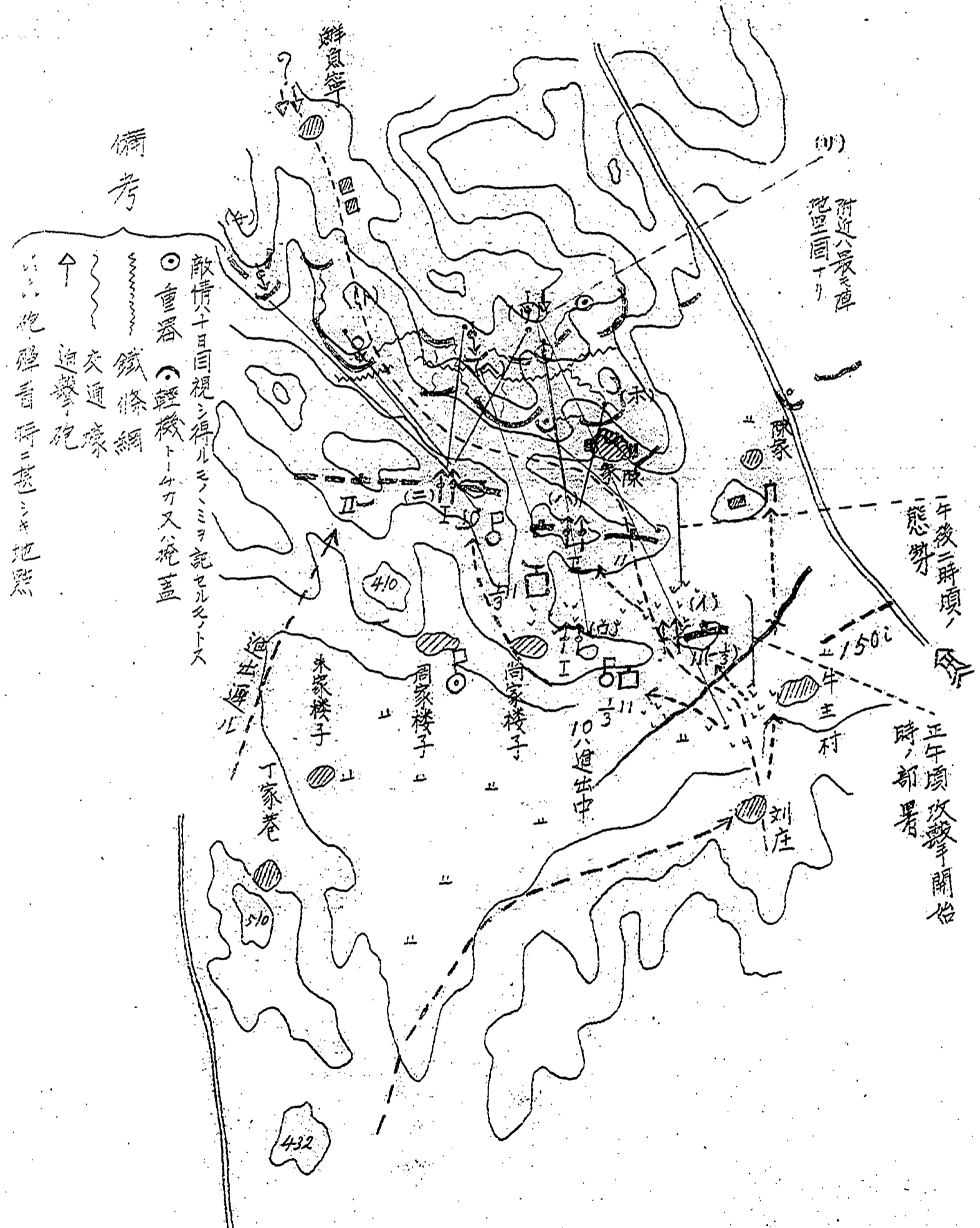
大隊當面、戦闘地ハ南京直接防禦線ノ最重要点タル  
雨花台陣地、東半部ニシテ櫛シテ数帯ノ丘陵東南  
ニ流ル、大波状地ヲナシ丘陵地ハ比高高カラス傾斜又  
亦急峻ナラサルモ倭樹雜草生ニ茂リ諸所ニ小起伏  
アリ且墓地多キ錯雜セル地形ニシテ運動ハ困難ナ  
リシモ死角多ク掩護物トシテ利用セラレタリ

谷地ハ木田ナルモ乾涸シ歩兵ノ通過ニ支障ナシ  
敵ノ陣地ハ此ノ地形ヲ利用シ縦深四乃至五軒ニ直リト  
子カ<sup>レ</sup>並椽蓋機関銃座ヲ骨幹トシ散兵壕交通壕  
ヲ以テ一連ニ相連絡セラレ火網濃密ニ編成セラレアリ  
又尚家榑子以北ノ著明ナル地形地物要點ニ對シテハ  
距離ノ測定ヲ行ヒ極メテ正確ナル射撃ヲ實施セリ  
然レ共陣地ハ主トシテ稜線制高地点ヲ利用セル爲地  
形ニヨリテハ死角少カラス  
障礙物ハ主トシテ有刺鐵線ヲ用ヒタル屋根形鐵條  
網(大部ハ深サ四米重要部ハ八米)戰車壕(三線)並拒  
馬地雷ヲ併用セリ  
尚城壁(道クニ野砲數門及速射機關砲座アリ)  
城外クリークハ幅四十米水深三乃至四米アリ大ナル障  
碍ヲ呈ス南岸ニ添ヒ家屋密集ス

城壁ハ高サニ十米ニ及ビ堅硬部ハ之カ破壊ノクメニ野  
砲彈六發同一ヶ所ニ命中セルモ僅カニ崩壊セルノミ  
ナリ而シテ城壁上ハ上下二段ノ銃眼ヲ有シ鐵道門(雨  
卷門)ヨリ中心トシ兩城壁層曲部銃眼ニ八重機ヲ配セリ  
雨卷門ハ望ヶ鐵扉ヲ閉シ内部ヨリ土臺ヲ推積シ閉塞セリ  
戦闘地附近ハ部落極メテ少ク且住民ハ逃走シ家屋ノ  
大部ハ燒却セラレ食糧品ハ皆無ノミナラス三日ノ戦闘  
間水ノ補給殆ント不可能ノ状態ナリ

(二共)圖要通經關戰略攻京南

(ルテ於二日十月二十)



備考

敵情十日自視ニ得ルモノミヲ記セルモノトス  
 ◎ 重器 (輕機トケカ又ハ掩蓋)  
 鐵條網  
 交通壕  
 迫撃砲  
 砲聲音時ニ基キテ地點

戰鬥經過及之ニ關聯セル隣接部隊ノ狀況

一戰鬥經過一般要圖ノ如シ

十二月十日(要圖其二参照)

一十二月十日午前十時三十分歩一二五作命第六十四號ニ基キ蘇田橋ヲ出發シ攻撃前進ヲ開始ス大隊(9、12欠)ハ先ツ概本道ニ沿ヒ丁家巷ニ進出シ然ル後右第一線トシテ展開スルニ決シ第二大隊ニ續行北進中第二大隊ノ其先頭標高四三ニ高地西側隘路ニ達スルヤ敵砲兵ノ猛烈ナル阻止射撃ヲ受ク

大隊ハ直チニ疎開四三ニ高地東南側ヲ經テ進路ヲ東北方ニ轉ス聯隊砲中隊後方ヲ續行ス

北方ヨリ歩兵第六十六聯隊ト近ク相對スル敵ノ小銃彈落下ス途中刈庄ヨリ陳家(東部)附近本道西側、敵情搜索ス



松橋將校午後候(二分)ヲ派遣ス

二 第一線牛王村西北端ニ達スルヤ敵ハ迫撃砲ヲ猛射シ我進接ヲ阻止ス直チニ左記攻撃命令ヲ下達ス

大隊命令

十月十日十一時四分  
於牛王村

一 敵情現地指示(要圖ノ如シ)

二 大隊ハ陳家北側高地ノ敵陣地ヲ奪取セントス

三 第十一中隊(小欠)第一線(一)ノ高地ヲ占領スヘシ

四 機関銃八一小隊ヲ以テ第十一中隊ノ攻撃ニ協カスヘシ

五 爾余ハ予備隊速ニ(一)高地南側ニ集結(二)高地ヘ進出ヲ

準備スヘシ

六 予ハ第一線ノ進出ニ伴ヒ其ノ左翼後ヲ(一)高地ニ至ル

大隊長

三 第十一中隊及MG(第二小隊)ハ迅速ニ(一)附近ヲ占領シ正午攻

撃ヲ開始ス

敵ノ小銃機及砲撃ヲ一齊ニ猛烈ヲ極メ後藤准尉以下數名ノ  
 死傷者ヲ生スルニ至リ殊ニ第二線部隊ノ前進遲滯ス  
 此間第一線第十一中隊及機關銃中隊長ノ指揮スル機關銃  
 第二小隊ハ彈雨ヲ意トセズ逐次ハ高地ニ近迫ス  
 到達セル第十中隊ヲシテ逐次ニ高地ノ占領ヲ命ジMGヲシテ  
 協力セシム協力MG小隊(I)ハ歩兵中隊ノ進出遅ルヤ之ニ先  
 シシテ(II)ノ高地ヲ占領シ(III)ノ敵砲火器ニ對シ迅速適切  
 ナル射撃ヲ以テ敵ヲ制圧シ攻撃前進ヲ容易ナラシメ大隊ハ  
 一時四十分頃(II)ノ線ヲ占領ス  
 左大隊未タ進出セス右150i又牛王村東北側ニアリ攻撃ヲ進歩活  
 潑ナラス  
 爾後火力特ニ重機ノ威力ヲ最高度ニ發揚シ有利ナル目  
 標ヲ捉ヘテ之ヲ猛射シ彈著極メテ良好ニシテ重輕機  
 數個ヲ撲滅シ第一線中隊又手段ヲ盡シテ攻撃ヲ進歩ニ

努ム此ノ間右第一線淺川小尉ハ(ホ)ノ高地ヨリ戰鬥ノ進捗  
ヲ企圖シ率先前進中壯烈ナル戰傷死ヲ遂ケ外五六名ノ  
死傷者ヲ生ス

而シテ敵ハ益々頑強ニ抵抗シ特ニ(川)附近ハ最モ浩潑ト(4)  
ノ側射又著ルシク我前進ヲ妨害シ且我ニ砲兵ノ協力ナ  
ク聯隊砲モ亦牛王村東方本道附近ニアリテ大隊ノ戰鬥  
ニ直接協力不可能ノ状態ニアリテ敵迫撃砲益々猛威ヲ  
振ッ斯クテ遂ニ戰況大ナル進展ヲ見ルニ至ラス

午後三時松橋介候帰還ス予備隊トシテ控置ス

四  
午後四時聯隊砲中隊ニ大隊正面ノ敵情及砲隊砲第一  
線ニ近ク陣地ヲ占領シ大隊ノ攻撃ヲ直接協力が連絡ス  
(傳令新井上等兵五時三十分飯還ス)

五  
午後五時三十分大隊ハ現在ノ態勢ヲ以テ夜ヲ徹シ明早朝  
ヲ期シ更ニ前方陣地ヲ攻撃スルニ決シ左記命令ヲ下達ス

大隊命令

十二月十日午後五時三十分  
於張家南側高地

一敵情変化ナシ

二大隊ハ概ニ現在ノ態勢ヲ以テ夜ヲ徹シ明早朝ヲ期シ更

ニ前方陣地ヲ攻撃セシトス

三各隊ハ極力敵ノ逆襲ヲ警戒スルト共ニ砲彈ニヨル損害ノ減

少ニ努ムヘシ概ニ半数ヲ陣地後方ニ集結休養セシムヘシ

四炊爨ノ實施時期ニ就テハ別命ス

五予ハ現在予備隊ノ位置ニアリ

大隊長

六 電話ヲ以テ聯隊長ニ現在ノ情況 大隊長ノ決心ヲ報告スルト

共ニ砲兵及歩兵砲ノ密接ナル協力ノ必要ヲ意見具申スルト

共ニ直接連絡ノタメ副官聯隊本部ニ至リ本日ノ情況ヲ詳細

報告、上左記聯隊長ノ意圖ヲ受ケ第十二中隊及R1Aニ

命令傳達シタメニ到ル可キ千葉少尉(途中迄)工兵中隊

長ヲ誘導シ九時帰還ス

左記

1. 明十日ハ聯隊(旅團)ハ攻撃ノ重點ヲ正正面ニ指何ス
2. RIAノ協力ニ関スル意見具申同意本夜中ニ連絡セシム
3. 第十二中隊ヲ復帰セシム
4. 工兵一小隊ヲ正ニ配属セシム
5. Aハ一中隊ヲ以テ明日ノ攻撃手ニ協力スル筈
6. 局部的、夜襲ハ可ナルモ大隊全カヲ以テスル夜襲ハ實  
施セサルコト

九時半頃IA大隊ニ配属トナリ到着ス

十二時平石少尉(以下七名)前方陣地偵察タメ派遣三時  
飯還ス

七. 本日、死傷料校(准)ニ名、下士官兵一〇名

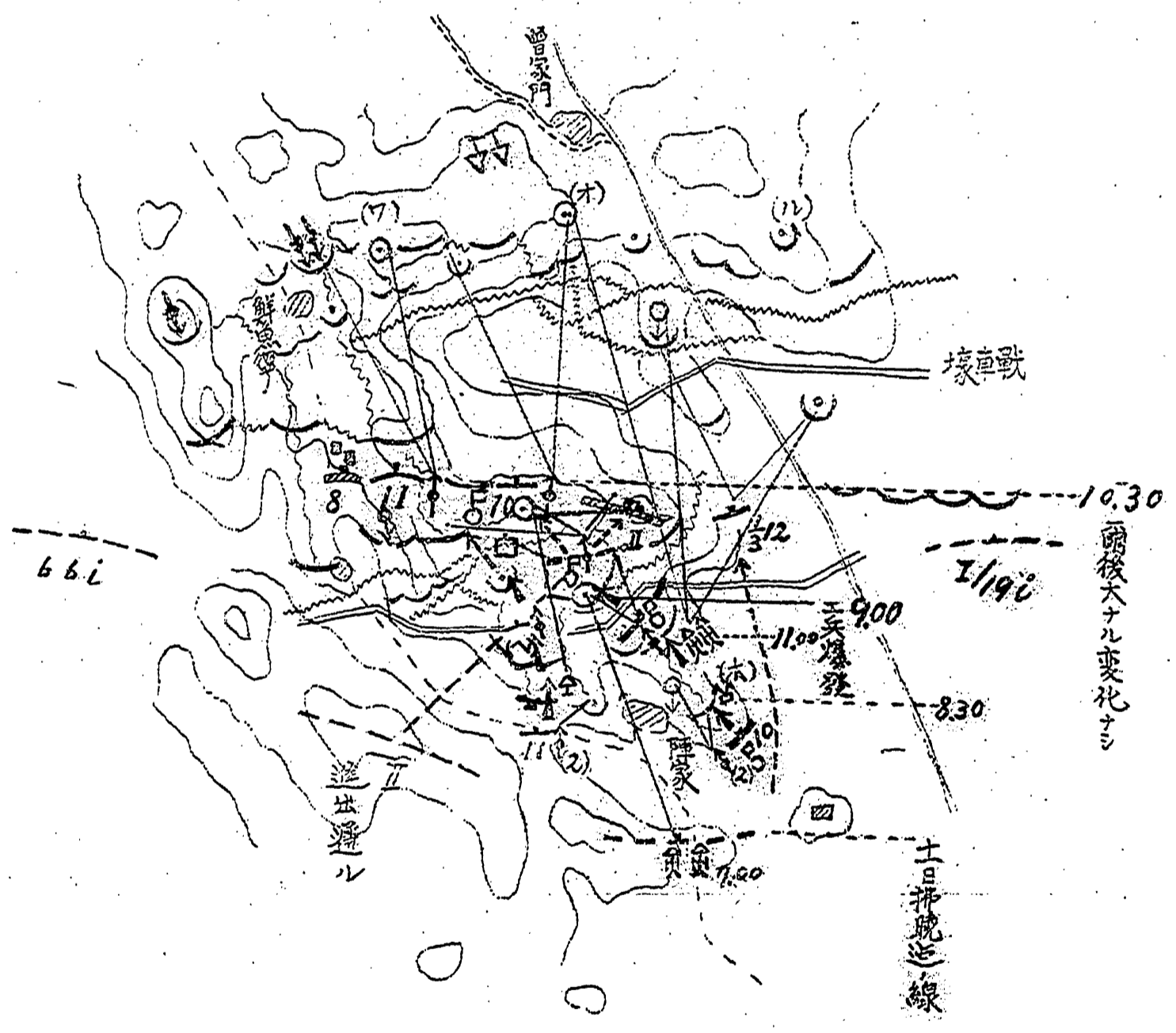
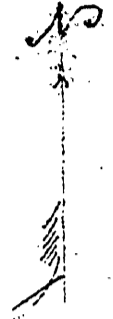
八. 本日小行李ハ永慶庵出發後大隊ト離レ行動シ午後四

ス 時南京南方八軒花袖廟ニ到着シ糧秣ノ徴發蒐集ニ任

1214

(一) 三、其) 圖要過經戰

(一九一一年一月一日)



(二、三、其) 圖要過經戰

(ルケ於二頃半時三後午日一十月二十)





十二月七日(要圖其ノ三)

一 午前五時歩一五作命第六五號ヲ受領ス

同五時三十分左記大隊命令ヲ下達ス

### 大隊命令

十一月十一日午前五時三十分  
於尚蒙樓子東北方高地

#### 一 敵狀變化ナシ

R1A八牛五村附近ヨリA八其ノ後方ニアリテ大隊ノ攻撃ヲ協力ス

二 大隊ハ陳家東側高地ニ重兵ヲ指向シ前面ノ敵陣地ヲ奪取

セントス

三 右ヨリ第十第十一中隊第一線 第十二中隊豫備隊

四 謝ハ第十中隊ニ協力

五 謝ハ永井大尉ノ指揮ヲ以テ先ツ現地ニ於テ大隊ノ凹地通過

ヲ掩護シタル後速ニ追及シ第十一中隊ニ協力

六 第一線兩中隊ニ工兵各二分隊ヲ屬ス

七 IAハ現在地附近ヨリ前面ノ陣地特ニ(川)及(田)ノ敵ヲ射撃

大隊ノ敵陣地奪取後速ニ山高地方面ヨリ追及スヘシ  
八背囊ハ現在地ニ残置スヘシ(分隊ニ名宛監視ヲ附ス)  
九予ハ陳家東側高地ニ向ヒ前進ス

### 大隊長

ニ右命令ニ基キ攻撃態勢ヲ整ヘ(工兵ハ第一線中隊ニ各々鐵條  
網破壊班ニ組トリチカ)爆破及地雷搜索班一組ヲ編成ス七時  
天明ト六ニ攻撃前進ヲ開始ス

第十二中隊、一小隊ヲ(遠間小隊)第一線ニ増加シ曾家門東南  
方本道上ノ台地ノ占領ヲ命ス

RIAノ密接ナル協力ノ下ニ右第一線ハ八時三十分一隊(山高地後  
線ノ陣地ヲ奪取シ續イテ山ノ陣地ニ迫近ス山ノ陣地ハ錯綜セル  
地形ヲ巧ミニ利用シ戰車壕及其後方ニ敷線ノ屋根形鉄條  
網ヲ以テ掩護セラルトトリチカヲ主体トスル陣地ニシテ昨日來  
最モ頑強ニ抵抗シアリ勇敢ナル工兵ハ戰車壕ヲ越ヘ敵前十五

米ニ近接シ數名ノ戰死者ヲ出スモ意トスルコトナク鐵條網ヲ爆破  
シ第一線之痕隨シテ肉迫シ機關銃小隊ノ極メテ密接ナル協力  
ノ下ニ奮戦力鬪九時十五分ヲ占領ス敵ハ死体ト共ニテ五  
コM三手榴彈約一〇箱小銃約八〇ヲ遺棄シ全ク潰滅ス  
左第一線モ亦陳家西北側後線ニ沿ヒ射撃ト壯烈ナル突撃  
ヲ反覆シMヲ提ケテ敵陣ニ突入スル等ノ勇敢ナル行動ヲ以  
テ逐次縱深陣地ヲ奪取シツアリ情況ヲ直ニニ聯隊ニ報告ス  
斯クテ數線ノ縱深陣地ヲ突破シ敗退スル敵ヲ撃破シツモ意  
猛進シ陣地後端ニ進出ス時二十時三十分頃ナリ  
附近一帶昨日來ノ我適確ナル射撃ト本朝ノ猛攻撃ニ依リ  
敵ノ死傷累々トシテ其數三百ヲ下ラス  
陳家東側附近アル步兵砲ニ極力第一線近ク進出ヲ命ス  
第二大隊我右翼概テ同線ニ進出ス  
遠間小隊ヨリ左記報告ヲ受領ス(十時五分發)

1. 1500ハ攻撃ヲ避レアルモノ、如ク状況不明ナリ
2. 本道東方90 (I/90)ノ第一線ハ尚四五百米右後方ニアリ
3. 遠間小隊前面ハ斜右ト一チカ陣地 (10)ヨリ猛射ヲ受ケ前進困難ナリ

4. 友軍砲兵ノ射撃ハ稍左ノ陣地ヲ射撃セラレ度

三北方敵陣地ハ所謂紅土山ノ陣地ニシテ曾家門南側高地東西ノ線ニ要圖ノ如ク陣地ヲ占領シ大隊正面ノミニテモ重輕機ノト一チカ及掩蓋約十個ヲ有シ陣地前ハ少ナキモ二線要兵ハ四線ノ鐵條網ヲ構築シアリ配兵モ亦最モ濃厚ニシテ兵力二千ヲ算シ抵抗頑強ヲ極ム

十時半頃ヨリ敵迫撃砲又射撃ヲ開始ス其陣地曾家門西方四〇〇米附近ニアルモノ、如ク砲兵及聯隊砲ニ通報シ射撃ヲ要ス

大隊ハ部隊ノ集結ヲ終了スルト共ニ第二大隊長ト協定ノ上地

形上鮮臭寧等方向ヨリ攻撃ノ進展ヲ企圖セシモ左翼兵ニ牽  
ハ中隊及六六聯隊ノ一部アリ該方面ニ七旅團右翼兵ノ攻撃  
ハ尚遲レマリ且正面ヨリノ銃砲火熾烈ニシテ前進不利ナルヲ以テ  
中止シ要圖ノ如ク敵ノ散兵壕交通壕ヲ利用シ陣地ヲ占領シ  
極力當面ノ敵陣地ノ制壓ニ努ム

午前十一時機關銃彈ノ補給ヲ聯隊ニ要求シ且豫備隊ノ小銃  
彈藥ヲ蒐集機關銃ニ交付ヲ命ス又聯隊長ニ當面ノ敵情ヲ  
報告ス

四 午後三時頃ニ至ルヤ敵ノ銃砲火ハ俄然我第一線附近ニ猛烈ニ集  
中落下シ之ト相俟ツテ敵ハ我左翼方面ニ逆襲ノ徵アリ大隊長  
ハ極力部隊ノ動搖ヲ防止シ歩兵砲機關銃擲彈筒ノ全火  
力ヲ拳ケテ急襲シ敵ノ機先ヲ制シ且本部傳令ヲ増援シテ  
第一線中隊ニ協カテ準備セシム  
敵ハ鮮臭寧等方向ヨリニ軒家南北ニ現出シ大隊ノ左側ニ迫

ス其數約三百ナリ

左第一線ニアリタル機關銃(ハ小欠)ハ敵ノ逆襲ヲ豫知スルヤ中隊長  
自ラ逆襲正面突出高地ニ陣地ヲ占メ急襲射撃ヲ準備ス  
ルト共ニ附近部隊ヲ激勵シ左第一線タル十中隊又輕機擲  
彈筒ノ部署ヲ変更シ斯クテ一斉ニ熾烈ナル火力ヲ集中シテ  
敵ノ機先ヲ制シ機關銃ハ火力ヲ最高度ニ發揚シテ殲滅的打  
撃ヲ與ヘ携行彈殆ント全部ヲ射耗シ盡シ偶々先ニ豫備隊  
ヨリ蒐集セル小銃彈藥約三千發ヲ以テ其任務ヲ遂行セリ  
歩兵中隊ハ至ル處手榴彈戰ト突撃ノ反覆ヲ展開シ左第  
一線小隊長松橋少尉ハ手榴彈ヲ投擲シ近迫シ来ル敵ニ率  
先突入シ頸部貫通銃創ヲ受リ壯烈ナル戦死ヲ遂ケ第一小隊長  
代理早川准尉又負傷ニ屈セス奮戦中更ニ腹部貫通銃創  
ヲ受クルニ至ル

右第一線第十中隊及機關銃小隊ハ全力ヲ發揚シ極力正面ノ

敵陣ヲ制壓シ一部ヲ以テ敵逆龍衣部隊ノ左翼ヲ射撃シ豫備  
隊タル第十二中隊ハ高地東北斜面ニ進出シ火力ヲ以テ主トシテ  
敵逆襲部隊ヲ猛射シ左第一線中隊ニ協力ス  
歩兵砲ハ正面敵自動火器ヲ猛射シ我對逆襲部隊ノ戰鬥  
ヲ容易ナラシム

斯クテ吾戰力闘一時間半逐次敵火衰約三百ノ逆襲部隊ノ  
大部ヲ陣地前ニ撃滅セリ

而シテ我モ亦約七〇(M)其他々隊ヲ含ムノ死傷ヲ生シ大隊本部ハ  
書記者藤伍長奮戰中戦死シ大隊副官及新井上等兵砲彈  
破片創ヲ受ク

大隊ノ左翼ニアリシ第八中隊又正面ニ逆襲ヲ受ケテ克ツカ戦奮

闘セルヲ見ル

(襲)

五 各隊ヲ概不敵逆前ノ態勢ニ復帰シ豫備隊タル第十二中隊(時  
右第一線アリ遠間小隊也)ヲ大隊本部ノ後方進ク招致ス

大隊命令

十二月十一日午後五時  
於經山南方高地

一 敵ハ漸次後退セルモノ、如シ

二 大隊ハ現在ノ姿勢ヲ以テ夜ヲ徹シ明早朝ヲ期シ一挙南京  
城ヲ屠ラントス

三 各中隊ハ極力陣地ヲ構築シ敵砲彈ノ損害ヲ減少スル如ク  
着意スヘシ

又薄暮ヲ待テ速ニ死傷者ヲ收容スヘシ死傷者ノ收容所  
ハ本部後方トス

四 彈藥ノ補充ハ極力大隊ニ於テ勉ムルヲ以テ各隊ハ大隊ニ連絡  
スヘシ

五 予ハ陣地中央第一線ニアリ

大隊長 信澤 少佐

下違法命令受領者ニ口達筆記セシム

注意



一他隊ノ如ク敵ノ砲彈ノ多クニ動搖スルカ如キコトアルヘカラス特ニ大隊ノ名譽言ノ多クニ然リ

六午後五時三十分大隊長ノ決心現在ノ情況ヲ電話報告ス

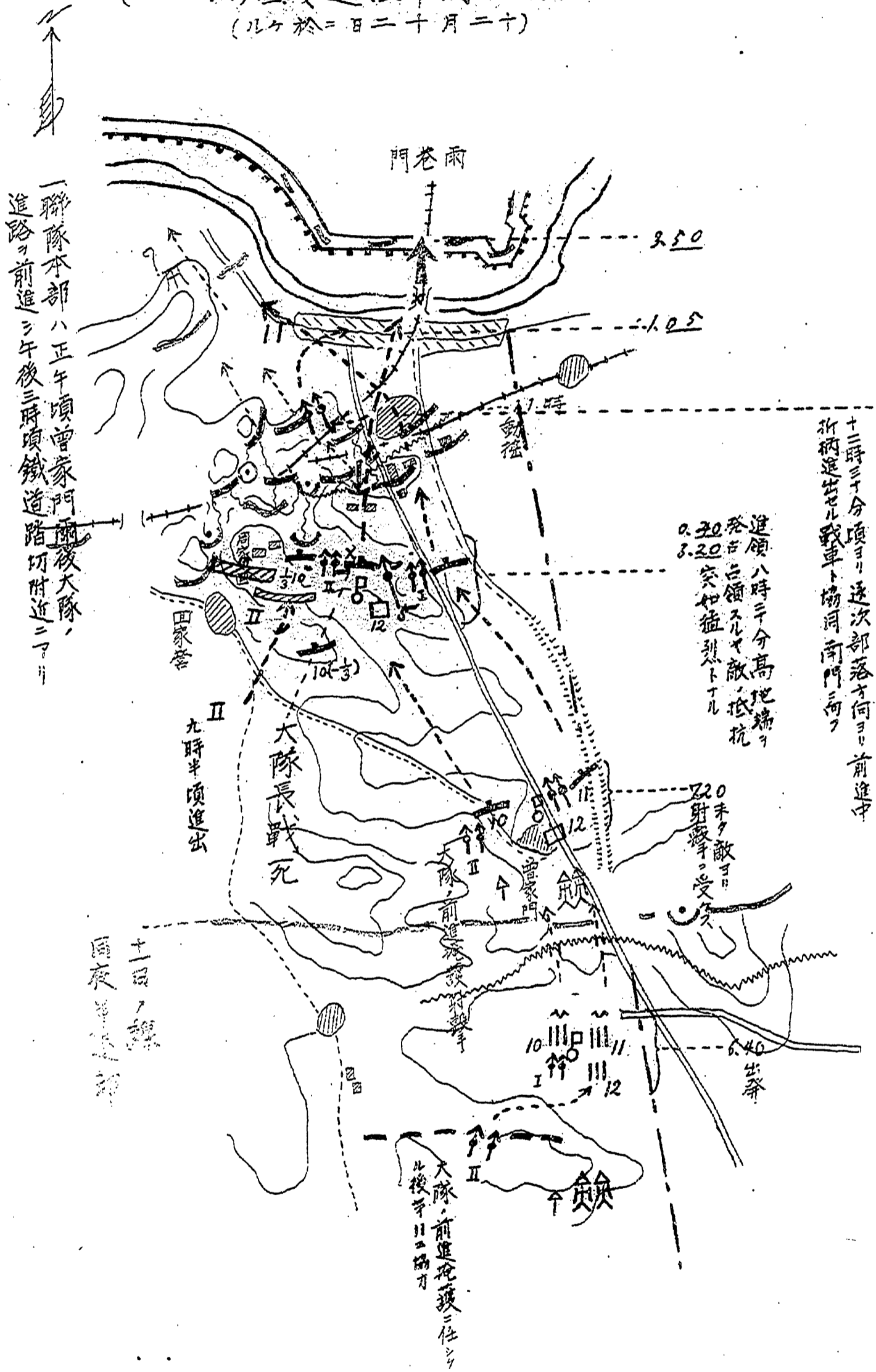
工事ノ實施ト共ニ暮幕漸ク迫レルヲ以テ極力死傷者ノ收容ニ勉ム錯雜セル地形至ル所ニ死傷者續出シアリ且敵ノ射撃ハ夜ニ入ルモ止ムコトナク容易ノ業ニアラス宮下軍醫中尉、飯塚衛生伍長ハ晝間未休息ノ暇モナク敵彈ヲ意トセス各隊衛生兵及收容人員ヲ激勵シ死傷者ノ索出收容手當ニ奔走シ午後十時三十分頃迄ニ戦死及重傷五十四名ノ收容ヲ終リ聯隊ヨリ派遣セラレタル收容隊清水少尉(凡豫備隊)及衛生隊ト連絡シ午前一時頃手當及後送ヲ終了ス

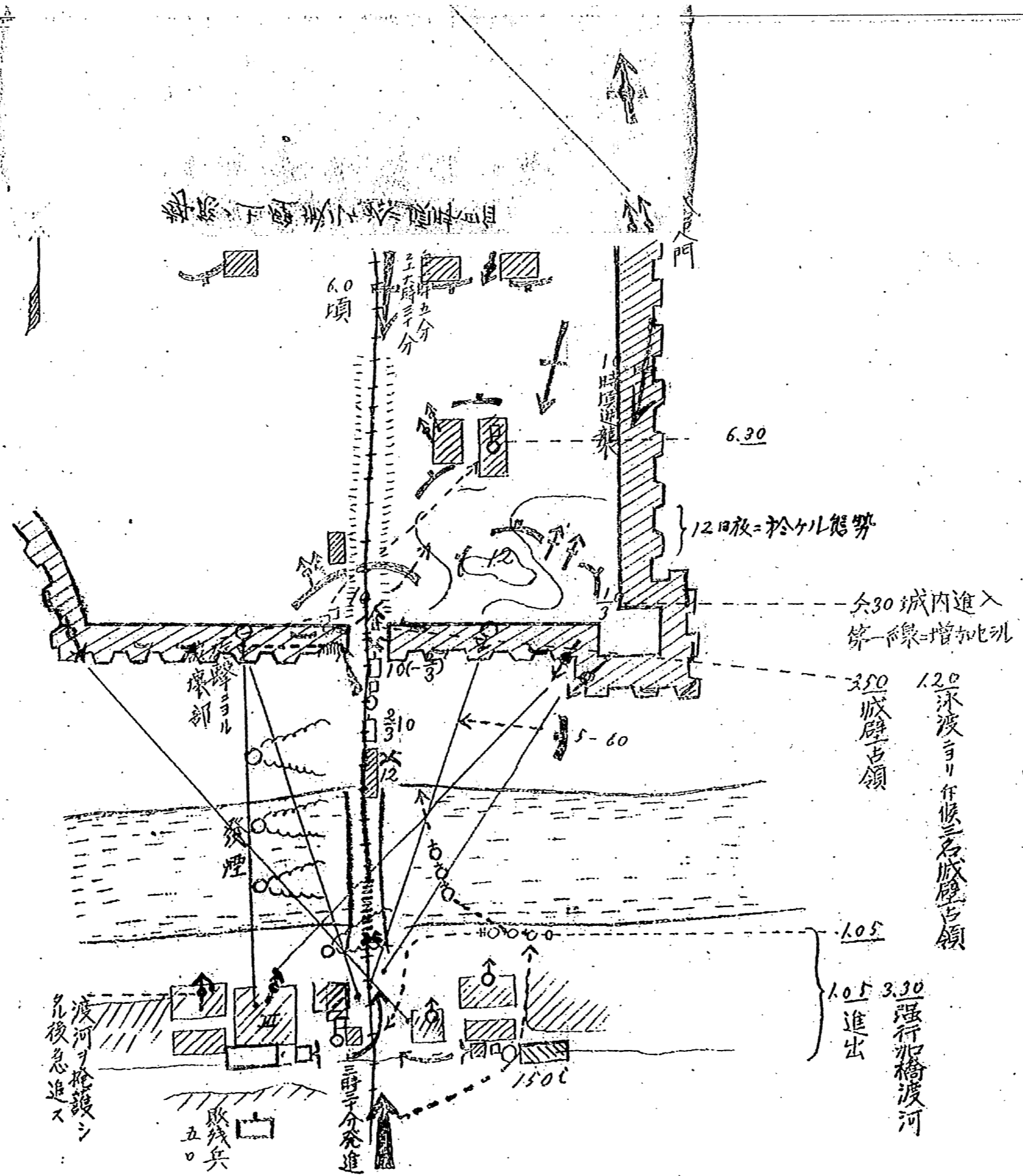
本日ニ於ケル大隊内戦死傷者(軽傷共)六十六名、歩兵砲工兵及附近ニアリテ戦闘セル獨立機関銃ヲ合スルハ正二百名ニ及ヘリ  
七午後九時三十分豊富ナル機関銃彈(十七箱)及小銃彈手

榴彈ヲ聯隊ヨリ補給セララル  
又夜半ニ至リ乾パン及握リ飯ヲ送付未ル昨日未一滴水ナ  
ク炊爨ハ情況之ヲ許サス而モ携帶口糧乙ハ既ニ使用シ  
盡シアル情況ナリ一同只後方部隊ノ甚辛ト聯隊長ノ部  
下ヲ思ハル、親情ニ自己ノ空腹ヲ忘レテ感激シ明拂曉ノ攻  
撃ヲ期シテ士氣振ヒ決意益々堅キモノアリ  
ハ小行李ハ大隊ノ後方ニ前進セントセシモ途中敵砲彈ノメ  
危険ナリシヲ以テ花神廟附近ニテ待期ス

(一、四其)圖要通經斗戰略攻京南

(凡ヶ於=日二十月二十)





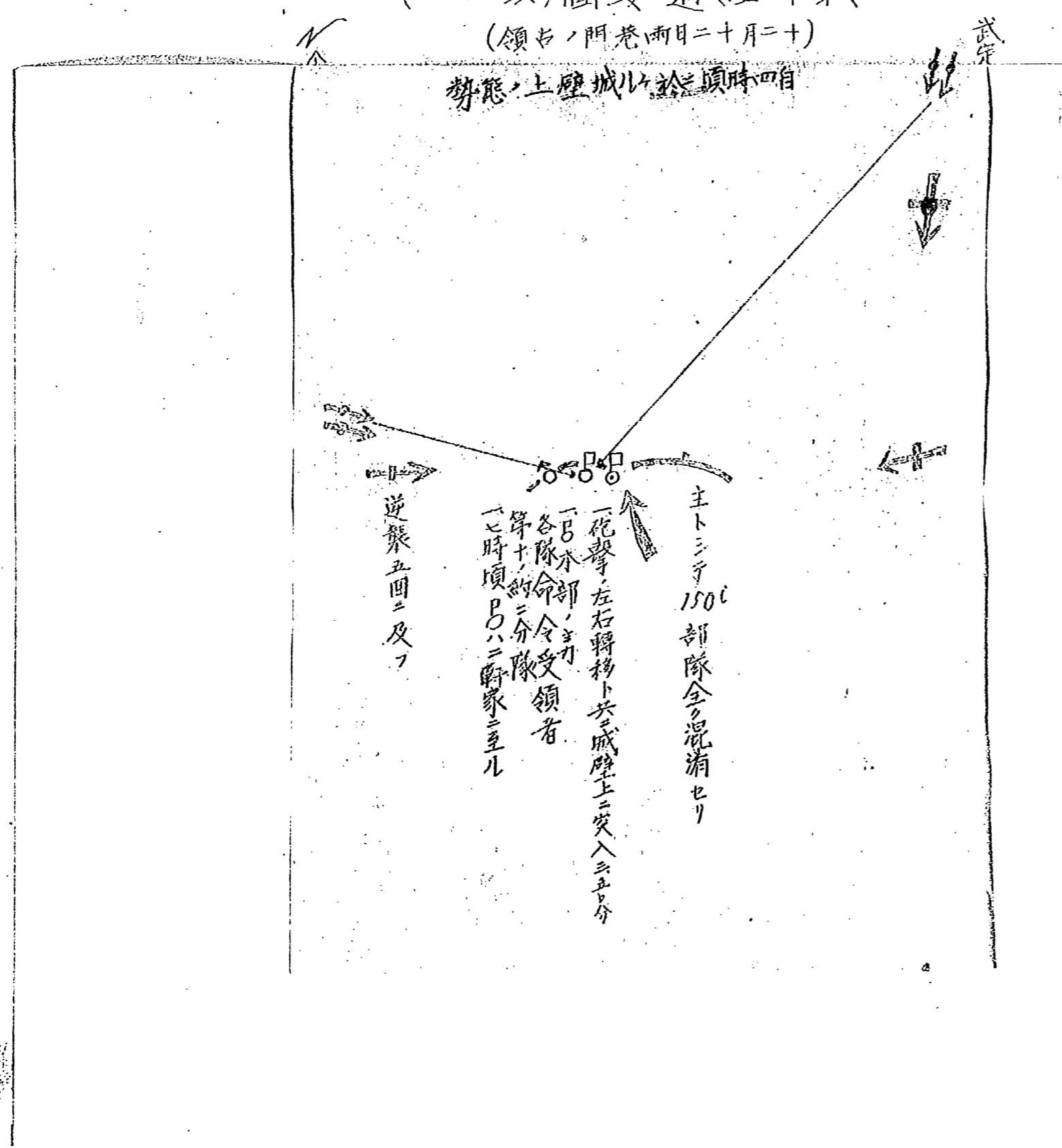
1228

1229

(二、四、其)圖要通經斗戰

(領古ノ門巷兩日二十月二十)

勢態、上壁城ハ於頂時四自



逆襲五回ニ及ブ

一、砲撃、左右轉移ト共ニ城壁上ニ突入ニ至ル  
 一、官本部隊、各隊命令受領者  
 一、時頃、官本部隊ニ至ル

主トシテ 1500 部隊全ク混淆セリ

於ケル態勢

1.30 城内進入  
第一線ニ増加セリ

1.20 深渡ヨリ在候ニ名威壁占領

1.05

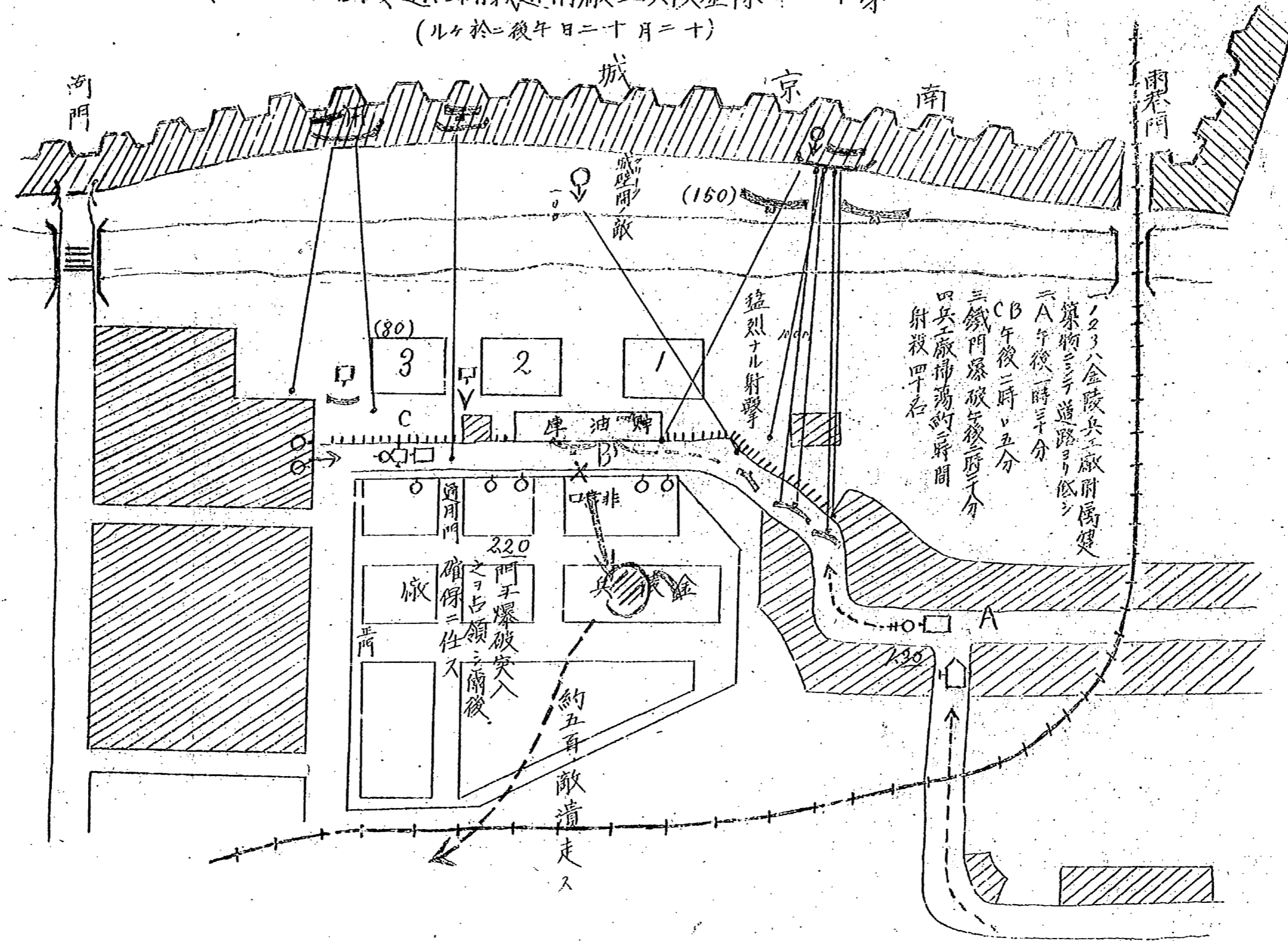
3.30 強行架橋渡河  
1.05 進出

1228

1229

(五、其圖要)圖要過經關戰近附廠工兵陵金陵隊中一十第

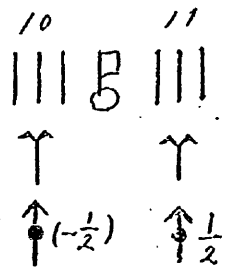
(ル々於ニ後午日二十月二十)



十二月二十二日(要圖其ノ四)

一、夜更ルニ及ヒ敵ノ銃聲止ミ午前三時頃ヨリ逐次退却ノ徵アリ敵ハ第一線ニ一部ヲ殘シ退却シツアルモノ、如シ  
午前五時改撃ヲ前進ニ當リ昨日來戰鬥地混淆セルヲ整理スヘキヲ第二大隊長ト協定ス

諸行候、報告ト大隊副官自ラ偵察シタル結果ニ基キ本道西側附近ヨリ天明前ニ於テ前面ノ敵陣地ヲ突破シ周家回東側高地ニ突進一舉南京城ニ突入ヲ決シ直チニ谷別命令ニ依リ左ノ如ク前進ノ態勢ヲ整フ



歩兵砲ハ現在地ニ於テ大隊ノ前面陣地奪取ヲ援護シタル後速

ニ第一線ニ進出セシム

前進ノ基準大隊本部

本朝將兵ハ料ニ數刻後ニ迫レル南京城頭翩翩トシテ想ニ  
輝ク日章旗ヲ胸ニ插キテ士氣最高調ニ達ス

午前六時甲分隊長自ラ第一線ニ立テ部隊ハ前進ヲ開始ス  
後線ヨ下リ谷地ヲ横断シ工兵隊ノ鐵條網穩密破壊ニ  
依リ前進シ殆ニト抵抗ヲ受クル事ナク流石ニ頑強ヲ極メ  
シ紅土山ノ陣地ヲ突破シ七時ニ甲分曾家門東西ノ線ニ進出  
セリ

二 工兵小隊ハ予備トシテ控置シ機關銃(一小欠)ヲ以テ普家門  
西北側高地ニアリテ周家凹東側高地及回花營後線ノ敵ヲ  
制圧射撃ニ任セシメ大隊ノ攻撃前進ヲ援護セシメ一斉ニ  
周家凹東側高地ニ向ヒ攻撃ヲ開始ス

時漸ク天明トナリ彼我ノ銃砲聲一時ニ起リ特ニ周家凹ノ敵  
陣地及回花營方面ヨリノ熾烈ナル斜射ヲ冒シツ、午前  
八時三十分大隊本部及右第一線タル第十一中隊MG一小隊ハ周



家凹東側高地東端ヲ占領シ豫備隊タル第十二中隊  
又第一線ニ追攝シテ高地端ニ進出ス  
然ルニ左第十中隊ハ回家營東北側後線敵陣地ヨリノ  
射撃猛烈ニシテ前進頗ル困難トナリ苦境ニ立ツニ至ル  
茲ニ於テ予備隊タル第十二中隊（小欠）ヨリ一時第十中隊  
ノ左ニ展開セシメ機関協力ノ下ニ逐ニ回家凹ノ高地ヲ完  
全ニ占領ス待望ノ南京城壁ハ近ク四〇〇米ノ眼前ニアリ  
附近一帯ノ陣地ハ雨花台要塞ノ最後ノ陣地トシテ即チ  
南京城外最後ノ防禦線トシテ防備極メテ堅固ニシテ  
錯雜セル起伏地ヲ利用シテ縱横ニ散兵壕交通壕ト一  
チカ陣地ヲ有シ然モヘトシ禦ノ永久的ト一チカ多シ大  
隊當面ノ敵約二千必死トナリテ頑強ニ抵抗シ銃砲火ノ  
猛烈ナル亂射撃手ハ其ノ極ニ達シ我熾烈ナル銃砲火ト  
相和シテ天地ヲ震動セシム

加フルニ我左翼圖上雨花台一帶、制高陣地及四花營  
稜線ノ敵尚頑強ニシテ此ノ方面ヨリスル大隊、左側北背ニ  
対スル猛烈ナル射撃ハ大隊ノ最モ苦痛トセル所ナリ  
而シテ其ノ位置適確ニ知ルヲ得サルモ敵迫撃砲ハ城壁附  
近ニアルモノ、如ク猛威ヲ振ヒ常ニ大隊長ノ手足トナリテ  
第一線ニ馳驅シアリシ大隊本部小林伍長傳令々小林上  
等兵ヨ始メ各隊死傷愈々續出ス  
此ノ間大隊長信澤少佐ハ悲壯ノ決心堅カ默々トシテ悠  
々息ラサル中ニ常ニ自ラ陣頭ニ立テ率先戰鬥ヲ指揮シ  
將兵又大隊長ノ勇姿ヲ見ル時只必勝ノ信念ニ燃ハテ凡  
エル手段ヲ盡シカ戰奮斗一意戰鬥ノ進拂ニ努ム  
特ニ機関銃第一小隊ハ猛烈ナル敵彈ヲ冒シテ右ニ左ニ  
陣地ヲ変換シツ、我カ最モ苦痛トスル左前方トナリ  
及其前方陣地ニ対シ有効適切ナル猛射ヲ續ク

午前九時稍々過ヨリ左第一線タル第二大隊逐次進出スルニ及  
ヒ之ト連繫シ第十中隊ヲ逐次第一線ニ招致ス右第百五十聯  
隊著ルシク攻撃遲滞シ昨日來狀況不明ナリ

此頃我カ配属歩兵砲八曾家門西側附近ニ進出シテ大隊當  
面ノ敵ニ対シ適切ナル射撃ヲ開始ス

又十時頃獨立機関銃我第一線ニ進出シ大隊左翼方面  
ノ敵ニ対シ猛烈ナル射撃ヲ開始ス

砲兵及聯隊砲又再三目標ト彈著ヲ通報シタル結果  
彈著極メテ良好ナリ

然レ共必死ノ敵ハ我右翼方面ハ二百米左翼方面ハ六七十  
米ノ陣地ニアリテ接戦ヲ演シツ、尚頑強ニ抵抗ヲ續ケ  
迫撃砲彈ト共ニ時々榴霰彈頭上ニ炸裂ス(高射砲ナルモ  
、如シ)午前十時中頃至リ敵ハ其ノ左翼及後方陣地  
ニ於テ動搖ノ色ヲ看取シ得ルニ至ル大隊長信澤少佐

ハ第一線ヲ激勵シ勇躍前進前方高キ墓地ニ進出シタル刹那左前方ト一々力方面ヨリ來ル敵彈左肩ヨリ胸部ヲ貫キ其ノ場ニ倒ル附近大隊本部諸官直チニ抱キ上テ呼ヘトモ聲ナク壯烈極ル戰死ヲ遂ケラル時二十一時五分ナリ

上陸以來凡ユル難困苦ニ遭遇スルヤ常ニ率先躬行身ヲ以テ當リ豪膽沈勇部下ヲシテ常ニ泰山ノ安キヲ感セシメ今三戦斗一度トシテ参加セサルハナク聯隊ノ唯一ノ大隊長トシテ聯隊長ノ信賴厚ク戰ニ臨ムヤ情況判断ノ適切ト銳敏ナル戰機ヲ看破卓越ナル指揮ハ實ニ天才的ニシテ常ニ戰局ヲ打開シテ活路ヲ求メ他ヲ導キ濶達ノ氣宇円滑ノ雅量部下ニ対スル愛情ハ實ニ慈父ノ愛ニ勝リテ將兵ノ信望ヲ一身ニ集メ枚擧ニ違ナキ幾多偉大ナル功績ヲ残シ殊ニ十日以來ノ南京攻略戰ニ於ケル偉勳ハ絶大ナル也

ノアリ南京入城寸前ノ死ハ誠ニ惜ミテモ余リアリ

將兵一同悲愴ノ決意益々奮戦力闘只管ニ突入ノ時期ヲ待ツ

三 敵ノ右翼及後方ハ逐次西北方ニ退却スルヲ目撃ス即チ電話ヲ以テ

聯隊長ニ狀況及大隊長戦死ヲ報告スルト共ニ砲兵ノ射程延伸

以<sup>城</sup>壁ニ対スル破壊射撃ヲ要求ス同時大隊副官金栗大尉

ハ聯隊長ヨリ左記電話命令ヲ受領ス

左記

貴官ハ嚴ニ大隊長ノ表ヲ秘シ其意圖ニ依リ大隊ヲ指揮

シ舉テ南京城ニ向ヒ突入スヘシ

爾後大隊副官大隊ノ戰鬥ヲ指揮ス

正午左記大隊命令ヲ下達ス

一大隊ハ概テ現在ノ態勢ヲ以テ南京城東南角鐵道門附近

ニ突入セントス

獨立機関銃ハ現在地ニテ左前ノ敵ヲ制圧大隊ノ戰鬥ニ

協力

RIA 曾家門附近ニテリテ城壁ノ敵ノ制圧ニ任ス

二第十一中隊ハアノ部落ヲ經テアノ附近(現地指示城壁東南角)  
第十中隊ハアノ二軒家附近ヲ經テ鐵道門ニ向ヒ突入スヘシ  
機關銃ハ一々小隊ヲ以テ大隊ノ後線通過ヲ槍護セシメタ  
ル後速ニ第一線協方中隊ニ追及スヘシ

三大隊本部ハ二軒家附近ヲ經テ第一線兩中隊ノ中央ヲ前  
進ス予備隊ハ本部ノ後方近ク續行スヘシ

四前進ノ時期ハ別命ス但第十一中隊ハ狀況之ヲ許セハ逐  
次前進シ本道右側アノ部落北端ノ線ニ進出シ城外  
特ニクリックノ狀況ヲ偵察スヘシ

敵ノ左翼ハ逐次退却ヲ開始シ我猛射ニヨリ殲滅的死傷  
ヲ蒙リツ、モ尚左前高地特ニト一ケカ陣地ノ敵ハ更ニ動搖ノ  
色ナシ

協力砲兵ハ一斉ニ東南角城壁ニ向ヒ射撃ヲ開始シ見事命中スレトモ城壁堅固ニシテ僅カニ彈痕ヲ止ムルノミニシテ之カ破壊ノ爲ニ相當ノ彈數ヲ要ス、即チ電話ヲ以テ約百米左鐵道門附近ニ対スル射撃ヲ要求ス

彈著左ニ移轉スルヤ其効果頗ル大ナリ

此間右第十中隊ハ巧ミニ地形ヲ利用シ本道部落北端ノ線ニ進出シアリMG第二小隊又中隊長自ラ指揮シ独断第十中隊方面ヨリ進出シツマリ

然レ共城壁ノ狀況前述ノ如ク破壊口未タ完成サレス

左大隊方面ハ敵ノ抵抗頑強ニシテ尚前進困難ノ狀況ニアリ右翼隣接部隊ノ狀況依然不明ナリ現在地點ヨリ一舉ニニ城壁ニ迫リ余勢ヲカツテ突入スルニアラサレハ若シ中途ニ於テ前進困難ニ陥ル如キエトナカランカ到底城壁突入ノ成功ハ難シ大隊主カハ極力前方ト一チカ及其両側陣地ニ據ル敵ノ

撲滅ニ努メ前進ノ時機ヲ待テリ

暫クミテ十數發ノ砲彈鐵道門左上部ニ命中スルヤ城壁ニ大ナル崩壞ノ跡ヲ見ル前進ノ好機ハ正ニ來レリ第二大隊ニ前進ヲ促スト共ニ大隊ニ前進ヲ命スルヤ滿ヲ持シテ待機セル第一線ハ十二時中分怒濤ノ勢ヲ以テ一氣ニ各々目標ニ向ヒ躡進城壁ニ殺到ス

四 部隊ヲ城外部落遮蔽下ニ停メ自ラ數名ヲ伴ヒ偵察ノ結果クリーウハ中約四米水深深ク部隊ノ渡涉ヲ許サズ鐵道橋ハ二橋節約セ八米燒却陷落シアリ其時駈着ケタル工兵中隊長ト共ニ研究ノ上破壞セラレタル鐵道橋ヲ利用シ應用携帶橋ニ依ル強行架橋ヲ成スニ決ス

此間偵察ニ伴ヒタル大隊本部書記中島伍長、深津軍曹傳令新井上等兵ハ独斷身ヲ躍ラシテクリーウヲ泳渡シ前後シテ彼岸ニ達スルヤ砲彈ニヨル破壞部ヨリ城壁ニ攀登シ城壁



ヲ占領シ日章旗及大隊旗ヲ打振レリ時三時三十分ナリ  
爾後彼岸橋脚ニ下リ友軍ノ砲聲ト敵彈ニ遠敵ニテ部  
隊ノ突入ヲ待ツ

第十二中隊牧田伍長ニ時頃泳渡ニヨリ彼岸ニ達セリ

城壁ハ高サ約三十米アリ敵情要圖(其四ノ三)ノ如ク之ニ據ル  
敵ハ二段ニ設ケラレタル銃眼ニヨリ瞰射スル中ニ於テ歩工協同ノ  
下ニ工兵中隊長ノ指揮ニヨリ所在ノ電柱戸板等ヲ蒐集集  
シ應用携帶橋ノ作製作業ヲ進ム作業間機關銃(第一中隊)  
及第一線中隊自動火器ヲ以テ城壁銃眼ニ據ル敵特ニ機關  
銃ニ猛射ヲ浴セ之ヲ制圧シ作業ヲ掩護セシメ主力ハ極力遮  
蔽下ニ集結突撃ヲ準備セシム此ノ間甲數名ノ敗殘兵ハ我  
カ作業ヲ妨害セントシ第十二中隊ノ一部ヲ以テ之ヲ撃手滅  
セシム

猛烈ナル敵彈下ニアリテ工兵隊ノ携帶橋ノ作製作業著々進

此ニ午後二時五分左記突入ノ命令ヲ下達ス(要圖其四ノ三)

左記

一 待望ノ南京入城寸刻、後ニ迫ル大隊ハ工兵隊ノ架橋作業完了ヲ待ツテ一舉城内ニ突入セントス

二 突入順序第十中隊ノ大隊本部第十中隊ノ殘部第十中隊ノ工兵隊殘部トス

三 機關銃アノ附近第十中隊自動火器、全部ヲ以テアノ附近予ノ陣地ヲ占領シ第一線ノ渡架突入ヲ援護シタル後第一線ニ續キ突入スヘシ

四 突入成功後第十中隊ハ鐵道及其以西ニ對シ第十中隊鐵道東側ニ對シ地歩ヲ確保スヘシ

然レトモ狀況ニ依リテハ確固タル信念ヲ以テ独斷善處スヘシ其他ハ臨機指示ス

五 軍旗入城ニ際シテハ後續部隊ハ独斷最善處置ヲ講シ之ヲ

掩護スヘシ

六六隊本部八城門城壁上ニ突入スハ  
聯隊本部八周家四東方本道附近ヲ前進中ニシテ二時五十分聯隊  
長ヨリ左記連絡アリ

左記

一 御奮斗ヲ祝ス

二 軍旗入城ノ時期ヲ報告セヨ

三 部隊ノ限定ニ注意セヨ

城門突入後ハ再ヲ確保シ聯隊ノ名譽ト功績ヲ堅持スヘシ

諸狀況ヲ判断シ概ネ三時三十分ニ架橋突入シ得ルコトヲ確信シ

此ノ旨聯隊長ニ報告ス

此ノ頃歩兵第百五十聯隊我大隊ノ右側ニ集合シ我大隊ノ架橋ヲ待期

シアリ

又第二大隊副官來リ第三大隊ニ續行シ渡河突入スヘキ旨ヲ連絡ス

斯クテ作業逐次進捗シツアル時右第一線タリシ第十一中隊ヨリ傳  
令來リ第十中隊ハククリク渡河不能ヲ知り戰車ト協同シ水道  
ヲ南門方向ニ前進中優勢ナル敵ト遭遇シ目下苦戰中ナリ  
トノ報告ヲ受ク直チニ予備隊ノ位置ニアリシ同中隊小此木小隊  
ヲシテ増援セシムルト共ニ聯隊長ニ急報ス

工兵隊ノ作業正ニ完成セントスル時機聯隊本部ヨリ手榴彈  
三百及發煙筒ハ發ノ補給ヲ受ケタルハ最モ時宜ニ適シタル  
處置ニシテ突入成功ニ大ナル功果ヲモタラシメタリ

此ノ間歩兵砲 砲兵ノ彈著良好ニシテ効果大ナリト雖モ城壁上  
敵ノ射撃手ハ依然猛烈ニシテ城門附近ノ破壞口モ亦部隊ノ攀  
登未ク困難ナリ即チ電話ヲ以テ更ニ破壞口ニ對スル射撃手ト步

兵突入(三時三十分)ニ當リテハ直チニ城門兩側ノ敵ノ制圧射撃ヲ  
實現セサレ度キ旨最後ノ連絡ヲ了ス  
皆クシテ我砲彈五六發破壊口ニ命中スルヤ著ルシク破壊口  
擴大シエ兵隊又架橋準備作業完了ス時ニ三時三十分ナリ  
茲ニ於テ直チニ架橋ヲ命シエ兵ハ煙幕ノ展開ト我重機関  
銃ノ後護射撃ヲ下ニ強行架橋ヲ敢行シ見事成功ス  
間髪ヲ入レス我突撃部隊阿修羅ノ勢ヲ以テ城門ニ迫ル城  
門ハ鐵扉ト土嚢トヲ以テ堅ク閉シ我砲彈尚城門破壊口ニ  
集中シアリ敵ノ乱射乱撃ハ其極ニ達シ且猛烈ニ手榴彈ヲ  
投擲シ來ル此ノ間所在ノ敵ヲ斬ク城壁外ヨリ逆襲シ來ル約  
百ノ敵ヲ撃滅ス百五十聯隊ハ我第十中隊ニ續キテ渡橋前進  
シ後方ハ兩部隊相混淆スルニ至ル  
一瞬ニシテ我砲彈左右ニ轉移ス金栗大尉ハ第十中隊長ヲ叱咤  
激勵シ城門突破ヲ命スルト共ニ自ら率先本部及第十中隊ノ

一部ヲ率ヒ破壊口ヨリ城壁上ニ向ヒ突入ス頭上ヨリ落下スル敵  
手榴彈ニ加フルニ大小ノ石崩壞落下シ攀登容易ナラス前後相助  
ケ城壁上ニ迫近シ手榴彈ヲ投シ敵ノ辟易空隙ニ乘シ數敵ヲ斃シ  
午後三時五十分遂ニ城壁上ヲ占領シ城頭高ク日章旗ト我名與合  
アル第三大隊旗ヲ翻セリ一瞬ノ感激ハ全ク例フルニモナシ  
城壁上日章旗ヲ仰キタル後方將兵ハ士氣最高調ニ達ス

而シテ城壁上破壊口附近ニ蟻集シ數米ヲ隔テ、主トシテ手  
榴彈ヲ以テ頑強ニ抵抗セル敵ハ我勇猛果敢ナル突入ニヨリ一部  
ハ東西城壁ニ主力ハ城内ニ破壊口ト相對シ内壁ニ六城内ニ通スル段  
階部アリ) 混乱敗退セルモ或ハ斬リ或ハ手榴彈戰ニ依リ殲滅的  
打撃ヲ與フ

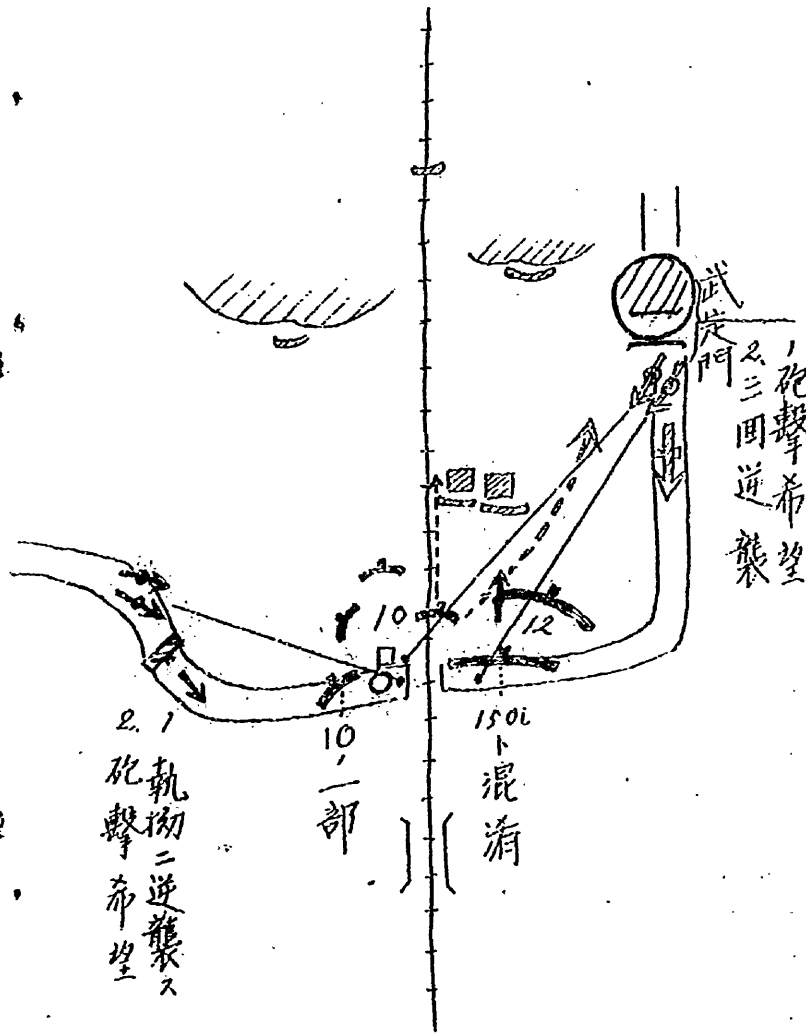
此ノ紛戦ト左右城壁ヨリノ集中火猛烈ニシテ我モ亦死傷續出セリ  
殊ニ敵ハ東側城壁武定門西方城壁屈曲矣ノ複廓陣地ヲ據  
点トシテ猛烈ナル支援射撃下ニ執拗ニ逆襲シ來レルモ我ハ良

ク寡兵ヲ以テ沈着機先ヲ制シシニ力戰奮斗敵ノ企圖ヲ挫折セ  
シメ戰ヒ且左右相助ケ城壁ノ練瓦ヲ起シテ掩体ヲ構築シツ、歩  
々戰果ヲ左右ニ擴張ス

午後四時三十分頃城内突入部隊第十中隊傳令來リ狀況ヲ  
報告ス即チ第十中隊ハ城壁上占領ト殆ト同時エ兵爆破班ニ面  
ノ爆破ニヨリ鐵門ヲ破壊シ果敢ナル突撃ヲ敢行シ先頭小隊  
長賀川少尉敵手榴彈ニヨリ負傷セルヲ初メ死傷十數名ヲ生  
セルモ屈スルコトナク勇奮之努メ忽チ附近ノ敵ヲ撃滅シテ遂ニ  
城門ヲ占領之ヲ確保シ前方家屋ニ據ル敵ヲ攻撃シツ、戰果ノ  
拡張ニ努メ機関銃中隊及第十中隊ハクリク通過掩護射  
撃ノ後機ヲ失セス第一線中隊ニ續キテ城門ヨリ突入シ密接  
ニ第一線中隊ニ協力シ戰果擴張ニ努メツ、アリ  
午後四時五十分頃狀況ヲ聯隊長ニ筆記報告ス

### 報告

四時三十分ニ於ケル状況



1 軌切ニ逆襲ス  
2 砲撃希望

一 完全ニ雨卷門ヲ占領ス  
 時計破壊ノタメ確實ナラサルモ三時五十分ナリ  
 第百十五聯隊ノ名譽下信澤少佐ノ靈ニ報ユルタメ日章旗ト我等  
 三大隊旗ヲ完全ニ先頭第一番ニ城頭ニ翻スゴトヲ得テ感激堪ヘス  
 二 現在ノ状況左記要圖ノ如シ



五時稍々過キ聯隊豫備隊タリシ第九中隊ノ閨口小隊入城シ大  
隊ノ指揮ニ復皈ス第一線各隊ハ遂次戰果ヲ擴張シ鐵道線  
路東側ニ軒家ヲ占領シ之ヲ確保セリ時漸ク夜ニ入り暗黒中  
到ル處接戰ヲ演シ又歩兵第百五十聯隊ト混淆シ部隊ノ整理  
困難ナル状態ナリ此ノ間永井大尉能ク附近部隊ヲ召集シ戰  
果ノ確保ニ努ム

城壁上ニ於テハ狹隘ニシテ兵力ト行動ノ自由得サルト遮蔽スヘキ  
何モノモナク全然暴露セルトニ乘シ敵ノ逆襲ハ執拗ヲ極メ輕機  
ノ如キ幾度カ彈藥ヲ射耗シ盡シ危機ニ瀕シタルコトアルモ協  
力一致能ク占領地點ヲ確保シ暗黒迫ルニ及掩体構築モ進拂シ  
敵ノ逆襲モ稍衰フルニ至レルヲ以テ大隊本部ハ六時三十分頃城内  
鐵道東側ニ軒家ニ前進ス

午後七時頃電話ニヨリ現在ノ狀況ヲ聯隊長ニ報告ス  
午後七時三十分聯隊命令ニヨリ機関銃隊長永井大尉大隊長

代理ヲ命セラレ爾後大隊ヲ指揮ス

午後十時頃ニ至リ敵ハ更ニ東側城壁上下ヨリ逆襲シ來レルモ機先ヲ制シ之ヲ擊退シ爾後概ホ要圖ノ態勢ニアリテ夜ヲ徹ス而シテ敵ハ夜更ルニ及ヒ遂次退却セルモノ、如ク銃聲漸次衰フルニ至ル午後十時三十分頃聯隊命令第六六號掃蕩ニ関スル命令ヲ受領ス

五 第十一中隊ハ所命ノ城壁東南角ニ向ヒ前進中折柄前進シ來ル戰車隊(戰車等ニ聯隊長細見中佐指揮)ト協力シ午後一時三十分圖上A点ニ進出シ東南門ニ通スル橋梁破壊セラレアルヲ知ルヤ左折シテ南門ニ向フ目的ヲ以テ前進シ途中城壁上ヨリ猛烈ナル集中火ヲ受クルモ之ニ制壓射撃ヲ加ヘツ、戰車ト共ニ強行約四百米ノ距離ヲ突破シ午後二時兵工廠前貯油庫ヲ占領ス然ルニ北方城壁及グリーク兩岸ヨリノ小銃、輕機、迫撃砲ノ猛烈ナル集中火ニ加フルニ兵工廠階上ヨリ手榴彈ノ攻撃ヲ受

ケ一時苦境ニ立ツニ至リ此ノ間率先勇猛能ク部下ノ士氣ヲ鼓舞シ  
奮戦シアリシ小隊長小林菅長胸部ニ敵彈ヲ受ケ壯烈ナル  
戦死ヲ遂ケタル外死傷六名ヲ生セルモ屈スルコトナリ奮戦一時  
間城壁上下ノ敵ヲ制壓沈黙セシメ而シテ工廠内ノ兵力毎ル可  
カラサルモアリ南門ニ向ヒ通過困難ナルト且兵工廠ノ重要性  
ニ鑑ミ之ヲ占領スルニ決シ勇戦力闘午後三時十分工兵隊ノ  
爆破ニ依リ門扉ヲ破壊シ廠内ニ突入スルヤ敵ハ遺棄死体  
七十五ヲ残シ西南方ニ潰走セシ 遂ニ完全ニ之ヲ占領シテ同工  
廠ヲシテ兵火ヲ免カシメ夥シキ鹵獲品ヲ得爾後命ニ依リ  
同工廠ノ警備確保ニ任セリ

六 小行本子ハ花神廟附近(周家村)ニ位置シ第一線ノ爲現品ヲ集  
メ握リ飯ヲ造リ補給ニ任ス

之ヲ運搬ニ當リタル坂慶伍長以下八名ハ途中周家凹東北側附近  
ニテ敗残兵十數名ト遭遇シ此ノ大部ヲ撃滅ス敵ハ遺棄死体

六輕機一小銃五ヲ鹵獲ス

正午頃小行李馬繫場ニ砲彈落下シ乘馬南通 駄馬南谷戰  
死ス

本日大隊内死傷大隊長以下七名馬三頭ニ及ヘリ

十二月十三日

城内敵ハ退却セルニ敗殘兵出沒シ其都度悉ク之ヲ掃蕩ス

午前八時軍旗入城ス雨巷門城壁上旭日ニ映ユル軍旗ヲ迎ヘ

送ニ東天ヲ拝シ聯隊長ノ莊重ナル聲ニ和スル 大元帥陛下

萬歲ノ奉唱ハ天地ヲ搖シ万里ノ怒濤ヲ越ヘテ遠ク故國ニ参

スルヲ覺フ而シテ御稜威ノ下聯隊長ノ負傷ノ身ヲ押シテ悲

慄ナル戰鬥指揮 豪膽沈勇信澤少佐ノ奮斗將兵ノ一意報

國勇敢ナル行動ノ様々過去三旬ノ感懷新ニシテ感激ノ淚濤泡

タルモノアリ

午前九時故信澤大隊長ノ遺骸ヲ城壁上ニ迎ヘ其靈ヲ慰ム  
大隊ハ聯隊命令(六六號)ニ基キ雨巷門ノ警備ニ任スルト共ニ  
第十二中隊主力ヲ以テ右第二大隊ニ連繫シ鐵道以西中山路ニ  
至ル間ノ掃蕩ヲ實施セシメ逐次地歩ヲ拡張又朝來戰死傷  
者ノ收容 人員武器彈藥調査等戰後ノ整理戰場ノ掃除ニ  
努ム

午前七時七月十六日以來旅團車馬材料ノ掩護ニ任シタル第九  
中隊西山小隊追及復敵ス

午後三時頃第十二中隊ノ掃蕩ヲ終リ逐次北方ニ推進シ午後  
八時十分左記大隊命令ヲ下達シ各隊ハ至嚴ナル警戒裡ニ露  
營ス

### 大隊命令

七月十日午後八時十分  
於南京雨巷門北方千米鐵道南側

一占領地区ノ掃蕩尚全カラス相當ノ敗殘兵アルモノ如シ  
聯隊ハ現在地(高等法院)附近ニ露營ス

二大隊ハ現在地附近ニ露營セシトス

各隊ハ設営者ノ誘導ニヨリ露營スヘシ

三部隊曰直將校 天川少尉

巡察料校ヲ兼ヌヘシ

四部ノ大隊掃蕩区域北端ノ警備及第十中隊ノ雨卷門(城壁上ヲ

含ム)ノ警備故如シ

其他ノ警警戒ハ各隊毎ニ警警戒スヘシ

五警急集合所ハ本部西側乾田トス

六給與ハ携行セルモノニヨルヘシ

七余ハ露營地中央大隊本部ニアリ

大隊長代理 永井大尉

下達法

要旨ヲ傳達シタル後命令受領者ヲ集メテ達筆記セシム

午後九時九日以來聯隊豫備隊アリシ第九中隊主力復返ス

第十中隊ハ依然金陵兵工廠ノ警備ニ任シアリ又小行李ハ城外  
ニアリ

午後十時三十分聯隊露營命令ヲ受領ス

十二月十四日

早朝ヨリ擔任區域内細部ノ掃蕩ヲ實施シ歩一二五作命第六  
九號宿營命令ニ依リ宿營地ヲ推進之ヲ確保シ又十月十  
二日以來行動ヲ別ニセル大行李追及指揮下ニ入り茲ニ光榮  
アル南京攻略戦斗ノ局ヲ結フニ至レリ

1255